

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-60	高等学校	外国語	コミュニケーション英語III	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	コIII327	PROMINENCE English Communication III		

1. 編修の基本方針

基本方針

1

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能が有機的に統合された言語活動を行うことができるようにする。

「聞く」「話す」「読む」「書く」言語活動を有機的に統合させるため、「読んだり聞いたりした内容」について「書いたり話し合ったり」する言語活動を設定した。すなわち、「各LessonのWarm Upで聞いたり、本文で読んだ内容」について、「Communication Activityで話し合ったり書いたり」できるようにし、そのためのステップとしてComprehensionを設けた。また、Part 2のUnit 2では、Lesson末にListening Comprehensionを設け、特に「聞く」言語活動を行う場とした。

基本方針

2

生徒自身がメッセージの能動的な受信者であると同時に、主体的な発信者となるような言語活動を英語で行うことができるようにする。

「読む」「聞く」言語活動を、生徒の一方向的な受容活動としてだけでなく、「題材の原著者ならびに本書編集委員会」のメッセージを生徒が主体的に受け止め、さらに生徒自身の考えを発信するという能動的活動としてとらえた。この目的が達成できるように、生徒に伝えるべき豊かなメッセージを備え、かつ生徒自らがメッセージの発信者となるようなインパクトを備えた題材を、生徒に親しみやすい日常的话题の中から厳選して掲載した。

基本方針

3

英語を通じてコミュニケーション能力が自然に身につけられるような学習の流れを紙面化し、多様な学習活動を通じて英語学習に取り組む自信を生徒に与えることによって、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養えるようにする。

英語を通じてコミュニケーション能力を養うことのできる指導の流れを具体化するため、各項目の構成を工夫した。特に、Lessonを構成する学習項目、Warm Up、Pre-Reading Question、本文、Comprehension、Communication Activity、Listening Comprehensionは、この目標を達成するための流れを配慮して配列した。各項目には多種多様なジャンルに沿ったコミュニケーション用タスクが用意されており、これらの作業を通して授業への参加意識を培いながら学習上の達成感を体験させることで、体感的に英語学習のコツが身につくようにした。

2. 対照表

図書の内容 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson	① パラグラフ構造や言語の特徴などの学習を通して、言語に対する理解を深めさせる。(第1号)	Reading Skill 1~6
	② 江戸時代の絵師である伊藤若冲。近年の若冲ブームには、米国人美術収集家であるジョー・プライス氏が大きく貢献したことを踏まえ、日本の伝統と文化ならびに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)	Lesson 1
	③ 発展途上国の子供たちに本を届ける活動を行うジョン・ウッド氏を取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	Lesson 2
	④ アメリカで実際に起こった宝くじの当選権利をめぐる裁判を取り上げ、法律に対する意識を高め、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号)	Lesson 3
	⑤ 4技能を総合的に活用する自己表現活動を通して、他人の価値観や意見を尊重しながら、自分の考えに基づいて積極的にコミュニケーションを図る態度を養う。(第2号)	全般
	⑥ ホテルから廃棄された石鹸をリサイクルし、発展途上国の子供たちに届けるドレック・カヨンゴ氏を取り上げ、国際状況に対する理解を深め、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	Lesson 4
	⑦ 米国人エッセイストのケイ・ヘザリ氏のエッセイから『Question Authority』を取り上げ、他国で尊重されている価値観を学び、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)	Lesson 5
	⑧ 2013年にバングラディッシュのダッカで起こった工場崩壊事故をきっかけに注目されたファスト・ファッション業界の功罪について学び、正義と責任、自他と敬愛の協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	Lesson 6
	⑨ 大学とは何のために存在しているのか。学問の追求といった目的が薄れ、就職に有利とされる学部が人気を博す現状に対して、改めて大学の存在意義を考え、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養う。(第1号)	Lesson 7
	⑩ 世界各国の時間に対する考え方とその違いについて学び、自国の価値観と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)	Lesson 8
	⑪ 人が恋をしているときに脳内で分泌されるホルモン等に注目し、愛を科学的に説明しようとする複数の説を読み、科学的な思考力及び創造性を培う。(第2号)	Lesson 9
	⑫ 人の五感を利用したマーケティング手法とその実例を取り上げ、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第2号)	Lesson 10
	⑬ 人型ロボットはこの先実現するかという問いについて考察し、科学的な思考力を養い、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第2号)	Lesson 11
	⑭ 高山に生息するハイイロシガラスの生態について学び、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	Lesson 12
	⑮ e-waste(電子電機機器廃棄物)が引き起こしている問題について取り上げ、国際社会の状況に対し幅広い知識と教養を身に付けるとともに、自然を尊び、環境を保全する態度を養う。(第4号)	Lesson 13
	⑯ 誰もがスマートフォン等の機器を持つようになった現代社会において、真の孤独とは何かを考え、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画する再度を養う。(第3号)	Lesson 14

	<p>⑬「5ドルと2時間を使って最大の利益を生む」というスタンフォード大学で実際に出された課題を取り上げ、柔軟な思考力と創造的な感性を養い、豊かな情操を培う。(第1号)</p>	Lesson 15
	<p>⑭東京の新しいシンボルとなった東京スカイツリーにまつわる最先端の技術と日本の伝統文化の融合を取り上げ、我が国の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)</p>	Lesson 16
コラム類	<p>①Let's Debate!, Make a Presentation!, Let's Discuss!では、それぞれ本課 Lesson で扱うディベート、プレゼンテーション、ディスカッションのモデル例を紹介し、実践的な言語の使用場面を踏まえて、実生活に活かすことができる力を養う。(第2号)</p>	Let's Debate, Make a Presentation!, Let's Discuss!

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	上記「2.対照表」に明記したとおり、教育基本法の遵守を踏まえ、編修の基本方針を設定した。	全般
②学習指導要領の遵守	生徒が自ら英語で発信する活動を豊富に取り上げ、コミュニケーション能力の涵養を目指した。	全般
③内容・配列・分量	<p>①4技能の活用を有機的・段階的に行うことができるよう内容のレベルに傾斜をつけて題材を選択・配列した。</p> <p>②各Lessonは、写真資料などからの導入、理解、整理、演習、発展の順に編集されており、効率的かつ効果的に学習できるように配慮した。</p>	全般
④評価 (CAN-DO)	各 Lesson 課末の Communication Activity で Listening, Retelling, Debate, Presentation, Discussion のいずれかの活動を設け、それぞれの活動を主体的に行うことを目標とした。	各 Lesson の Communication Activity
⑤英語で授業を行うための配慮	<p>①英語による授業を促進し、これを実現するために、Reading Skills と付録類を除いて、指示はすべて英語によることとした。</p> <p>②原則として『アドバンストフェイバリット英和辞典』（東京書籍）に準拠し、アメリカの標準的な発音で表記した。発音されることもあり、発音されないこともある音はイタリック体で表記した。</p>	全般
⑥コミュニケーション英語IIとの関連	<p>①コミュニケーション英語IIまでの既習語1,262語に加えて、新語を709語とした。</p> <p>②文法面では、生徒への学習負担を鑑み、コミュニケーションIIで扱った読解のテクニックのうち、生徒の学習において重要度の高い項目については再掲した。</p>	全般 Reading Skills
⑦伝統・文化の取り上げ方	日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め、日本の伝統文化への正しい認識を培い、日本を世界に紹介しようとする態度を育てる。	Lesson 1 Lesson 8 Lesson 16
⑧自然科学の取り上げ方	ハイロホシガラスの生態を紹介し、自然科学への興味を喚起する。	Lesson 12

⑨ 家庭学習・自学自習への配慮	巻末にAnnotationを示した。	Annotation
⑩ 文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ① 鮮明で美しい写真，読み易い活字を使用した。 ② 製本は堅牢で，開きやすい様式とした。 ③ 図やグラフの色使いなど，色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとした。 	全般

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-60	高等学校	外国語	コミュニケーション英語III	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	コⅢ327	PROMINENCE English Communication III		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 全体構成

a. 3Part構成

全体を3Part構成とした。構成は次のとおり。

Part 1 Reading Skills

Part 2 Lessons

Part 3 Optional Readings

またPart 2 を3Unit構成とし、本文語数をそれぞれUnit 1 (Lesson 1～Lesson 4)「400～500語」、Unit 2 (Lesson 5～Lesson 12)「600～900語」、Unit 3 (Lesson 13～Lesson 16)「900～1,000語」とした。ジャンルに応じて、各LessonのCommunication Activity で「Listening」、「Retelling」、「Debate」、「Presentation」、「Discussion」のいずれかの活動が行えるようにした。

2. Part 1 Reading Skills

英文を速く正確に読み取るためのコツを、親しみやすい例と具体的な作業とともに示した。その際、「情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」ための一助となるよう特に工夫した。

3. Part 2 Lessons

a. 扉ページの写真および資料

本文の内容を想起させるような写真や資料を配置し、生徒の題材へのスキーマを活性化させることにより、本文内容にスムーズに入っていけるよう配慮した。

b. Warm Up

各Lessonの題材に関連した質問。写真やイラスト、資料などを見ながら答えられるようにした。

c. 本文

本文は原典をなるべく生かし、更に内容を保持したまま「内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句」を自然な文脈の中に盛り込むように留意した。本文は5行ごとに行番号をつけた。

d. 脚注

新出単語と熟語を示した。熟語については、巻末のAnnotationで例文とともに学習できるようにした。

e. Comprehension

「概要や要点をとらえたりする」言語活動を用意した。

A:「本文の主題を選ぶ」設問とした。

B:本文のパラグラフ、あるいは複数のパラグラフの内容のサマリーを穴埋めさせる設問とした。

C:本文内容に関する5題程度の正誤形式の問題とした。

f. Communication Activity

Listening は本文に関連する内容を聞き取る活動とした。RetellingはそのLessonの内容について、相手に伝え、自分の意見を添える活動とした。Debate, Presentation, Discussionでは、それぞれの活動の前段階として、すべてBrainstormingとWritingを行うようにした。

g. Listening Comprehension

本文で扱った内容に類する話題を対話と説明文形式で聞き、質問に答える設問を用意した。

4. Part 3 Optional Readings

すべての生徒が学習することを前提としない選択的な教材と位置づけ、Lessonとは異なるタイプの読み物を収載した。物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりし、論説文やエッセイなどとは異なる表現に親しめるよう配慮した。

5. Annotation

本文で扱われた熟語を例文とともに示した。また、本文の単語あるいは熟語について、補足が必要とされるものについて説明を加えた。

6. Let's Debate!, Make a Presentation!, Let's Discuss!

本課Lessonで扱うディベート、プレゼンテーション、ディスカッションの説明とともにモデル例を示した。

7. Word List

本文で扱った新出語の初出箇所を示し、学習・指導上の便宜を図った。

題材一覧

ユニット	レッスン	タイトル	語数
Unit 1	Lesson 1	Ito Jakuchu-The Rediscovered Artist	436
	Lesson 2	Leaving Microsoft to Change the World	486
	Lesson 3	A One-Million-Dollar Lottery Ticket	549
	Lesson 4	Recycling Hotel Soap to Save Lives	498
Unit 2	Lesson 5	Question Authority!	645
	Lesson 6	The True Cost of Fast Fashion	622
	Lesson 7	What Is College For?	723
	Lesson 8	Attitudes toward Time	675
	Lesson 9	Science of Love	813
	Lesson 10	Human BUYology	746
	Lesson 11	The Robots Are Coming-Aren't They?	769
	Lesson 12	The Thing with Feathers	829
Unit 3	Lesson 13	Technology as Trash	990
	Lesson 14	The Flight from Conversation	1,024
	Lesson 15	Bring New Light on Traditional Assumption	967
	Lesson 16	TOKYO SKYTREE: A Gathering Place Up in the Heavens	929
Optional Readings	Optional Reading 1	Invictus	1,040
	Optional Reading 2	A Summer's Reading	2,173

2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容						箇所	配 当 時 数
	第2款		第3款 1		第3款 2	第4款		
	(1)	(2)	使用場面	働き				
Reading Skill 1		イ・ウ					pp.6-7	1
Reading Skill 2		イ・ウ					pp.8-9	1
Reading Skill 3		イ・ウ					pp.10-11	1
Reading Skill 4		イ・ウ					pp.12-13	1
Reading Skill 5		イ・ウ					pp.14-15	1
Reading Skill 6		イ・ウ					pp.16-18	1
Lesson 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.20-25	5
Lesson 2	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.26-31	5
Lesson 3	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.32-37	5
Lesson 4	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c,	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.38-43	5
Lesson 5	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.44-51	5
Lesson 6	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.52-59	5
Lesson 7	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.60-67	5
Lesson 8	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.68-75	5
Lesson 9	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.76-83	5
Lesson 10	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.84-91	5
Lesson 11	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.92-99	5
Lesson 12	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.100- 107	5
Lesson 13	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.108- 115	6
Lesson 14	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.116- 123	6
Lesson 15	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.124- 131	6
Lesson 16	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ・エ	c	a, b, c, d, e	イ	2(1)	pp.132- 139	6
Optional Reading 1	イ						pp.142- 175	2
Optional Reading 2	イ						pp.148- 157	2
							合計94時間	